



2025年1月17日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ヘ リ オ ス
代 表 者 名 代 表 執 行 役 社 長 CEO 鍵 本 忠 尚
(コード番号：4593 東証グロース)
問 合 せ 先 執 行 役 CFO リチャード・キンケイド
(TEL：03-4590-8009)

AND medical 社との培養上清供給契約締結に関するお知らせ

当社とAND medical group（本社：東京都港区、代表理事：草野正臣／林鍾学、<https://and-mg.com/> 以下、「AND medical社」と言います。）は、AND medical社が今後新たに提供する治療法や化粧品の原材料となる培養上清を、当社からAND medical社へ供給する契約（以下、「本契約」と言います。）の締結を本日決定しましたのでお知らせします。

1. 本契約の概要

当社は、2024年4月にAND medical社と、当社が保有する再生医療等製品の生産に関する技術及びその生産の過程で産出される培養上清の活用を目指した共同研究契約（以下、「共同研究契約」と言います。）を締結しております（2024年4月9日発表：「[AND medical 社との培養上清活用に向けた共同研究契約締結のお知らせ](#)」）。共同研究契約におきまして、共同研究の一定の目的が達成された後、原材料となる培養上清を当社からAND medical社への供給契約の締結を定めていました。

本契約において、初回発注分として4億2,000万円相当の対象製品を受注いたします。またAND medical社より2億円を先払いで受領します。加えて、上記共同研究における最終マイルストーン達成の対価6,000万円を5月に受領予定です。今後の発注時期および製品の出荷量・出荷時期につきましては、AND medical社と協議のうえ順次決定してまいります。

対象製品：MultiStem^{®*1}の生産により生じる培養上清

2. 相手先の概要

(1)	名 称	一般社団法人 AND medical group
(2)	所 在 地	東京都港区六本木7丁目14番7号六本木トリニティビル6階
(3)	代表者の役職・氏名	代表理事 草野 正臣、林 鍾学
(4)	事 業 内 容	医療・福祉・介護サービスの提供
(5)	資 本 金	—
(6)	設 立 年 月 日	2020年7月21日
(7)	発 行 済 株 式 数	—
(8)	決 算 期	6月
(9)	従 業 員 数	437名（2024年12月31日現在）
(10)	大株主及び持株比率	—
(11)	当事会社間の関係	
	資 本 関 係	該当事項はありません。

人 的 関 係	該当事項はありません。		
取 引 関 係	該当事項はありません。		
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。		
(12) 最近3年間の経営成績及び財政状態 (千円)			
決算期	2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期
純 資 産	11,231	30,787	36,363
総 資 産	237,576	1,918,324	5,047,492

注：社団法人においては、株式の発行及び資本金の出資がないため、該当欄を「－」で記載しています。

3. 本契約に関する日程

決議日：2025年1月17日

締結日：2025年1月17日（予定）

4. 今後の見通し

本契約により AND medical 社より受領する先払い金2億円は、2025年12月期第2四半期以降の入金を予定しており、AND medical 社への納品の都度、売上に計上いたします。今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

* MultiStem®

MultiStem®は、健康な成人ドナー骨髄由来の多能性成体前駆細胞（MAPC）から成る当社独自の体性幹細胞再生医薬品です。MultiStem®を使用した脳梗塞急性期や急性呼吸窮迫症候群（ARDS）の治験を実施しています。MultiStem®は、強力な抗炎症作用と免疫調節作用を示すことが示されており、さまざまな病態への応用が可能です。後期臨床試験において数百人の患者で試験され、3D培養法で一貫して製造されており、複数の適応症において数百人の患者で有効性及び安全性の両方が実証されています。ヘリオスは、脳梗塞急性期、ARDS、外傷に対し、MultiStem®をグローバルに推進してまいります。

米国において脳梗塞急性期及びARDSを対象疾患とするMultiStem®は、FDAより、重篤または生命を脅かす疾病や治療法のない疾病に対する新薬の開発に向け一定の条件を満たした医薬品に対し迅速承認を可能とする制度であるFast Track（医薬品）及びRMAT（細胞加工製品）の指定を受けています。

■一般社団法人 AND medical group について

当法人は、全国31拠点（2024年12月末時点）でクリニックを運営する総合医療グループです。2020年に設立し、美容皮膚科・美容外科・形成外科・泌尿器科を展開、また傘下の再生医療等提供機関において、幹細胞を用いた再生医療分野への取り組みも始めています。

当法人は、人それぞれが持っている異なる性格・好み・価値観により、様々な「美」があると考え、性別や年齢・国籍などを問わず、「誰もが自分らしい美を追求できる世界」の実現を目指し、患者様の外見に対する不満やコンプレックスを軽減できるよう、様々な医療サービスを提供しています。

今後、再生医療分野においては、この度の株式会社ヘリオスとの共同研究を推進し、安全性と治療効果について、国が求める水準の科学的な検証を実施した上で、幹細胞を用いた治療法の確立、培養上清を活用した化粧品及び医療用製品の製造により、さまざまな疾患領域へ期待される幹細胞治療の可能性を追求してまいります。

■株式会社ヘリオスについて

再生医療は、世界中の難治性疾患の患者にとって新たな治療法として期待されています。この分野では、製品開発・実用化への取り組みが広がり、将来的には大きな市場となることが見込まれています。ヘリオスは、iPS 細胞（人工多能性幹細胞）などを用いた再生医薬品開発のフロントランナーとして、実用化の可能性のあるパイプラインを複数保有するバイオテクノロジー企業です。2011年に設立し、2015年に株式上場（東証グロース: 4593）し、再生医薬品の実用化を目指して研究開発を進めています。体性幹細胞再生医薬品分野では、健康な成人ドナー骨髄由来の多能性成体前駆細胞（MAPC）から成る独自の細胞製品である MultiStem®を使用した脳梗塞急性期や急性呼吸窮迫症候群（ARDS）の治療を実施しています。MultiStem®は、強力な抗炎症作用と免疫調節作用を示すことが示されており、さまざまな病態への応用が可能です。後期臨床試験において数百人の患者で試験され、3D 培養法で一貫して製造されており、複数の適応症において数百人の患者で安全性と有効性の両方が実証されています。ヘリオスは、脳梗塞急性期、ARDS、外傷に対し、MultiStem®をグローバルに推進してまいります。iPSC 再生医薬品分野では、免疫拒絶のリスクを低減する次世代 iPS 細胞であるユニバーサルドナーセル（UDC: Universal Donor Cell）を作製し、さらには、遺伝子編集技術により固形がんに対する殺傷能力を強化した次世代 NK 細胞（eNK®細胞）の開発を進めています。eNK®細胞は、動物モデルにおいて強固な抗腫瘍効果を実証しており、大量生産が可能な 3D バイオリクターでの製造プロセスを実現しています。これらにより、がん免疫領域をはじめ、眼科領域、肝臓領域などで新規治療薬の開発に取り組んでいます。

<https://www.healios.co.jp>